

「安心」「活力」奪う消費税増税

いまこそ暮らしを応援する税制を!



いまこそ
「消費増税NO」の
声を大きく



「生活防衛」をいながら家計に冷水
麻生首相は、1月4日、年頭の記者会見で消費増税を総選挙の争点にすることを明確にしました。「生活防衛」や「内需拡大」を強調しながら、暮らしと家計を痛めつけて内需に冷水を浴びせる消費増税に固執するのは、異常としかいえないようがありません。

体力のある大企業は、
雇用を守り、応分に負担を

一方、大企業には法人税実効税率の引き下げや、証券優遇税制の延長など、いっそうの減税を打ち出しています。大企業製造業(資本金10億円以上)はこの10年で剰余金を1.4倍(32兆円)増やすなど、体力は十分にあります。大企業に雇用を守らせ、応分の負担を求めるべきです。

首相は今年のキーワードに「安心」「活力」を掲げましたが、消費増税は景気悪化と雇用破壊に苦しむ国民から「安心」も「活力」も奪います。いま必要なのは、食料品など生活必需品は消費税を非課税にし、暮らしを応援することです。消費増税なんてとんでもありません。

国民は消費増税に 反対です

「消費税を含む税制抜本改革を2011年度より実施できるよう」と明記した「中期プログラム」について。

評価しない **58%**

評価する **32%**

(日経新聞、08年12月29日付)

2009年1月

消費税廃止各界連絡会

東京都豊島区目白2-36-13 全国商工団体連合会気付
TEL 03-3987-3230 ホームページ <http://shz-haishi.jp>

取扱団体